



学校
だより

月にみがきて

令和6年12月25日
千曲市立更級小学校

<文責>
松澤 幸嗣

「ホンモノ」に触れる体験のすばらしさ(12月の学校生活より)

2学期末を迎えた12月は、全校や学年で「ホンモノ」に触れる貴重な体験活動がありました。

読書旬間に合わせて「千曲市おはなしネットワーク」のみなさんによる読み聞かせがありました。低・高学年ごと2日に分けて多目的室で行った読み聞かせを、子どもたちは真剣な眼差しで聞いていました。先生方が紹介したオススメ本をたくさん借りたり、各家庭では親子で読書の時間に浸り込んだりするなど、全校が本の世界の楽しさを味わうことができた旬間になりました。旬間が終わっても、たくさんの本に触れてほしいと思います。なお、本校では毎月「語り部の会」の皆様方にも、読み聞かせをしていただいています。



4年生は、先月から始まっていたなかよし旬間に合わせて、福祉について学ぶ機会を設けました。上田千曲高校生活福祉科のみなさんや、長野県社会福祉協議会の方々にご協力いただき、「車イス介助体験」「赤ちゃんのお世話体験」「アイマスク体験」「社会福祉士相談体験」「看護師体験」を体験しました。実際の仕事を体験できたことで、将来の自分がやるかもしれない仕事につながりそんな感想を持った児童もたくさんいて、貴重なキャリア教育の機会になりました。



他にも、島田さんに書き初めの指導をしていただくなど、たくさんの「ホンモノ」に触れることができました。今後も、学校では「ホンモノ」に触れる体験活動を大切にしていきたいと思っています。

人権教育参観日・講演会がありました(12/12)

6年生はインフルエンザ流行のため学級閉鎖となってしまいましたが、1～5年生はなかよし旬間に合わせて、人権教育参観日・講演会を行いました。保護者の皆様にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。



2 学期終業式 校長講話(12/25)

(前略) さて、毎日寒い日が続いていますが、ここで突然問題です。「寒い」の反対はなんですか？ そう「暑い」です。では「大きい」の反対は？ これも簡単だね。正解は「小さい」です。

それでは、「ありがとう」の反対は？ これは難しいです。正解は「あたりまえ」です。実は「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」になります。「有る」ことが「難しい」、つまり「滅多にない」「珍しくて貴重だ」という意味です。だから「有り難う」の反対は「あたりまえ」になるということです。ところでみなさんは、どんなときに「ありがとう」と言っていますか？(子どもたちの反応を聞く)

今発表してもらったように、何か特別なことをしてもらった時や助けてもらった時「ありがとう」って言いますよね。10月の修学旅行では、6年生がバスから降りる時、運転手さんやバスガイドさんに誰もが「ありがとうございました」と言っていました。そんな6年生の姿を見た時、校長先生は「とってもいいなあ」と感じました。さすが6年生ですね。でも、バスにはお金を払って乗っているのだから、つまり自分たちはお客さんだから、運転手さんやバスガイドさんに「ありがとう」なんていう必要はないという考え方もあります。みなさんはどう思いますか？

校長先生は、お客さんだからしてもらうのが「あたりまえ」だと考えるのは、何か違うなと思います。「あたりまえ」だと思っていることも、実はたくさんの人に支えられて成り立っています。だからこそ、してもらったことに対して「ありがとう」をいつも言いたいなと思います。

ところで、みなさんは『ONE PIECE (ワンピース)』って知っていますか？「海賊王に おれはなるっ!」のセリフが有名な、漫画やアニメの『ONE PIECE』です。ここでまた突然問題です。何かをしてもらったり、助けられたりした時、ルフィ、サンジ、ゾロ、ナミたちは、それぞれ何て言うと思いますか？

「①サンキュー ②どうも ③ありがとう ④無言(何も言わない)」

では、正解を発表します。正解は、全員が③の「ありがとう」と言います。「サンキュー」とか「どうも」とか言っている人は1人もいません。ルフィ、サンジ、ゾロ、ナミの全員が、「ありがとう」と言っているのです。ルフィたちだけではありません。『ONE PIECE』の漫画に出てくる登場人物すべてが、「ありがとう」と言っています。でも、これはたまたまそうなったわけではありません。作者の尾田栄一郎さんが、「ありがとう」と言うことにこだわっているからです。尾田栄一郎さんはこう言っています。

「これは、こだわり、あります。ゾロなんか特に、照れて言葉を変えそうなキャラクターですけどね。ぼくからしてみれば、そういう時にカッコつけて言葉を濁すような奴は、逆にカッコ悪いと思いますので、セリフの流れとして相当変にならない限り、一番ストレートな「ありがとう」と言ってもらう事にしています。」

「あたりまえ」だと思っていることが、実は「あたりまえ」ではない。そして、そのことに対して、素直に「ありがとう」と言える人は、校長先生もかっこいいなと思います。今年の3つの合い言葉でもある「ありがとう」という言葉が、もっともっとたくさん聞こえる更級小学校になるため、この冬休みは家族に対してたくさんの「ありがとう」を、自分から言う休みにしてみてください。そうすれば、休み明けの3学期を気持ちよくスタートすることができるはずです。

最後に、去年も言ったことですが、冬休みに事故や事件に巻き込まれないため、「『いかのおすし』を必ず守る」「感染症予防に気をつける」「すべる事故に注意する」「ネットのトラブルに巻き込まれないようにする」に十分気をつけ、安心・安全な冬休みを過ごしてください。1月10日(金)には、みなさんの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。これでお話を終わります。

冬休み中の緊急連絡について(保護者の皆様へのお願い)

※次のような場合は、休み中でも必ず学校(275-0052)へ電話をしてください。なお、夜間や休日で学校職員が不在の時は、公用携帯に転送されます。(設定の都合上、12回コール後に転送されるのでしばらくお待ちください)

※転送されてもすぐ電話に出られない場合は、後ほど「090-2196-5416」の番号から折り返します。

○お子さんが、入院が必要なケガや病気になった場合。

○3学期始業式を休む必要がある、各種感染症に罹患した場合。

※「3学期始業式を休む必要がある各種感染症への罹患」とは、「1月5日(日)以降に罹患した場合」です。それ以前の罹患は報告しなくて構いませんので、ご承知おきください。